

製品名: GCS- β -1 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab11375**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:10000
分子量	70kDa

抗原情報

遺伝子名	GUCY1B3
別名	GUCY1B3; GUC1B3; GUCSB3; GUCY1B1; Guanylate cyclase soluble subunit beta-1; GCS-beta-1; Guanylate cyclase soluble subunit beta-3; GCS-beta-3; Soluble guanylate cyclase small subunit
遺伝子 ID	2983.0
SwissProt ID	Q02153
免疫原	抗血清は、ヒトグアニル酸シクラーゼ β 由来の合成ペプチドに対して作製された。AA 範囲: 10-59

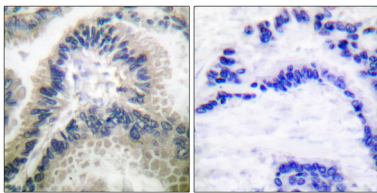
背景

この遺伝子は、可溶性グアニル酸シクラーゼ (sGC) の β サブユニットをコードしており、GTP (グアノシン三リン酸) から cGMP (環状グアノシン一リン酸) への変換を触媒します。コードされているタンパク質は、一酸化窒素、酸素、ニトロ系血管拡張薬などのリガンドに対する受容体として機能する HNOX ドメインを含みます。選択的スプライシングにより、複数の転写産物バリエーションが生じます。[RefSeq 提供、2014 年 5 月],触媒活性: GTP = 3',5'-サイクリック GMP + ニリン酸。補因子: ヘテロ二量体あたり 1 つまたは 2 つのヘム基に結合する。酵素調節: マグネシウムまたはマンガンイオンの存在下で一酸化窒素によって活性化される。その他: グアニル酸シクラーゼには、可溶性型と膜結合受容体型の 2 種類がある。類似性: アデニル酸シクラーゼクラス 4/グアニル酸シクラーゼファミリーに属する。類似性: 1 つのグアニル酸シクラーゼドメインを含む。サブユニット: アルファ鎖とベータ鎖のヘテロ二量体。

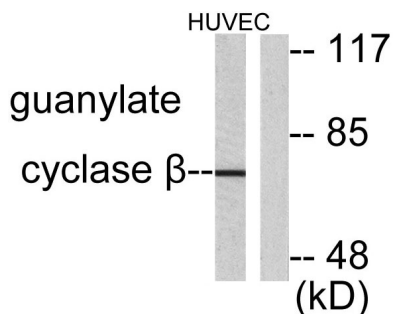
研究分野

プリン代謝;血管平滑筋収縮;ギャップ結合;長期抑制;

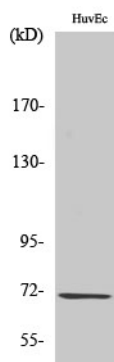
画像データ



グアニル酸シクラーゼ β 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト肺癌組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。



グアニル酸シクラーゼ β 抗体を用いた HUVEC 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンには合成ペプチドでブロッキングされている。



GCS- β -1 ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析